

事務局だより 13号

東北大学教育学部同窓会

東北支部・旧仙台支部

新コロナ渦の中で

1 はじめに

今年の春から、新型コロナウイルス感染拡大により自粛の日々でした。一時収束に向かったかなと思われましたが最近では東北、特に宮城県が拡大の状況にあり、自粛生活がいつまでと愚痴が出てしまいます。改めて、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方とご家族、関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、医療機関や行政機関の方々など感染拡大防止に日々ご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。二転三転する拡大防止対策や経済対策に対し種々の意見も聞かれますが今こそ皆で知恵を出し合い拡大防止と経済再生に最善を尽くしていく時と思います。

また、この度の令和2年7月豪雨と長雨そして大型台風の来襲等々で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。それにしても災害は自然の脅威を我々に見せつけています。前例に学び生かせる様、常に学ぶ姿勢で災害に対応することの大事さを身に沁みて感じます。

2 令和2年1月以降の役員会等報告

1) 1月11日(土)17時からホテルJALシティで令和元年度第3回の役員会が開かれました。八鍬学部同窓会会長さんの挨拶の後、光井副支部長の議事進行で、欠席役員への委任状数の確認後、会計中間報告や協力金に賛同頂いた人数と合計金額の報告・承認があり、次に重要案件の会費処理会計委員の交代による内規改正は承認されました。協力金の使途や年度理事辞退(6人)への対応、来年度

の協力金の呼びかけについては継続審議となる。

2) 3月末に予定していましたが会計監査は感染拡大防止及び会場の確保が難しく延期、個別に監事さんのご都合に合わせて監査を受け、7月14日に最終監査を受けました。

3) 監査会と同時に開催していた顧問会は書面による意見交換とし5月1日付の手紙で以下5点について説明を付して意見を求めました。①総会時の講演会の講師の推薦 ②協力金の継続 ③連続会費未納者への対応 ④会の所在地を定める会則改正 ⑤次期支部長候補者の推挙

4) 5月18日に予定していましたが令和2年度第1回役員会も中止せざるを得ず、8月22日の第2回役員会を以って本年度の最初の役員会としました。学部同窓会事務局長神谷先生のご尽力と八鍬学部長さんのご配慮もあり、大学設定の感染症予防対策を実施、出席された役員の方々のご協力も頂き、最後の机や椅子の消毒を済ませ無事終了しました。次に協議された事項を記します。①令和元年度事業報告・会計決算報告 ②令和2年度事業計画案・会計予算案 ③協力金の継続 ④会則及び附則、内規の改正 ⑤支部総会・講演会・懇親会の開催 この5点の議案の内4議案は議決 ⑤総会は感染拡大の状況を鑑み、書面による開催となりました。講演会・懇親会は中止となります。

3 会費納入と協力金継続のお願い

会費納入を忘れていませんか。身体的等諸事情により振込不能というケースもあると思いますが60%近くの方が会費未納です。会報発送数も多く運営が困難です。申し訳ありませんが本年度も協力金の継続をお願いします。(文責 渡邊宣隆)